

創造・誇り・愛！ 輝く七中 煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長 渡辺 政彦

学校だより 第8号

令和2年12月7日



# とらのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>



## 成長の秘訣

校長 渡辺 政彦

早いもので今年も残すところ3週間余りとなり、いよいよ冬休みが始まります。全校面談では大変お忙しい中ご来校いただきまして誠にありがとうございました。恐らく全校面談では2学期おける学習面や生活面、学校行事への取組などお子様の学校生活の様子が話し合われたことと思います。節目、節目に自分の取り組みを省みることはとても大切なことで自分の成長のためには不可欠です。

一般的に振り返る際に、よく反省するといいますが、反省というのは、例えば「反省の色が見られない」というように、自分のよくなかった点（ネガティブな観点）を認めて改めようと考えことです。これはこれで非常に大切なことですが、皆さんに意識してほしいのは、できなかったことや失敗したことだけを振り返るマイナス評価だけではなく、良かった点やうまくいった点のプラス評価（ポジティブな観点）、可能性に気づく機会としてほしいということです。こうしたプラス評価を含めた振り返りを省察（せいさつ）といいます。プラス評価を行うためには、何事にも意欲をもって主体的に取り組むことが大事とされています。いやいや引き受けた仕事や面倒がってやった仕事を振り返っても、そこからは自分の良さや可能性を見出すことは難しいものですが、逆に自分から進んで引き受けた仕事については、たとえ失敗しても何か得るものは残るものです。

ここで「就職ジャーナル（今はWEB版）編集長などを経験した田中和彦さんの話を紹介します。彼が仕事をやる上で大事にしていることは、お願いされたことを断らず、何事も勉強だと考えて取り組むことだそうです。そして、何万人の人と面接を行ったり、周りの人の仕事ぶりの観察を通して、「仕事ができる人」の共通点を見付け、ある本に記しているのですが、その共通点とは、依頼されたり、相談されたりしたことは、「まずはやってみましょう」と断らずに引き受けているということです。仕事が舞い込んでも「できない理由」を探して断るのではなく、それどころか、すぐに仕事をやり遂げるための方法や段取りを考え、実行に移していきました。その試行錯誤の過程で多くのことを学び、これまでできなかったことができるようになり、多くのスキルを身につけることができたそうです。その結果、周りからの信頼を得て、自分が本当にやりたかった仕事（当時は映画のプロデューサー）もやれるようになったという話です。

何事にも、「大変だから嫌だ」「面倒くさい」「誰か好きな人がやればよい」と考えるのではなく、気持ちを切り替えて「まずやってみよう」と考え、主体的に取り組むことがさらに自分の能力や可能性やスキルを伸ばすことにつながると思います。意欲をもって主体的に取り組めば、結果がどうであれ何か大切なことを学ぶことができる。主体的に取り組む、自己省察を行うことが“成長の秘訣”につながるのではないのでしょうか。

## 横田拓也さん(拉致問題の家族会代表)講演会 ～ 友達や家族にこの問題を伝えて！



1月7日(土)、土曜授業が行われ、3校時は、体育館において、拉致問題の家族会代表の横田拓也さん(横田めぐみさんの弟様)を招いて、「現代の中学生に伝えたいこと」と題する講演を行っていただきました。新聞やテレビ等で知る拉致問題とは違い、直接ご兄弟から生の声(叫び)を聴くことができたことは七中生にとって大きな収穫となりました。「私たちは家族をはじめ様々な人たちに支えられて生活していること、この問題は風化させてほしくないこと、そのためには様々な機会を通じて友達や家族にこの問題を伝えてほしい」というメッセージをいただきました。講演のあとの生徒の感想では、「他人事と思ったら解決につながらない」「私たち自身が関心をもつことが大事だ」「自分に何ができるかを考えて行動していきたい」という声が聞かれました。



## 立川市中学校生徒会サミット ～ 立派に意見交換

1月5日(土)に立川市中学生生徒会サミットが行われ、本校からは2年生の西潟ろささんと、1年生の久保あかりさんが参加しました。生徒会サミットとは平成27年度「立川市にある中学校の生徒会役員で集まって話ができないものか・・・」という声から生まれたものです。今年度は【デジタルツール(コンピュータ等)を使う中で、経験した課題や良さを話し合い、より良い生活のために何をすれば良いか】、【コロナ禍の中で経験したり、感じたりしたことを話し合い、今後より良い生活を送るためには何をす

ればよいか】という2つのテーマについて小グループに分かれ、意見交換を行いました。グループ討議後の意見交換で、七中としては「人間誰しも身近に危険が迫らなければ危機感をもつことは難しい。しかし、現在の新型コロナウイルスが流行している状況を他人事としてとらえてはいけないと思うので、私たち生徒会は生徒会便りを活用して立川市の感染者数などを具体的に掲載し、呼びかけを行っていきたく思います」と立派に発表しました。(生徒会担当 小川 紳)



### 生徒総会

1月6日(金)、生徒総会が開かれました。10月まで生徒会本部を担ってきた本部役員のご感想と後期担当者へのメッセージが述べられた後、校長先生から新しい生徒会本部役員へ認証状が手渡されました。その後、総会では新生徒会本部と各学年学級委員会、各専門委員会の委員長が登壇し質疑・応答が行われ、活動方針・計画が多くの拍手により承認されました。本部のスローガン「FULL POWER」～共に創ろう 樺の木～のもと全生徒で活動を盛り上げていってほしいと思います。

### 花壇の花植え

1月20日(金)、美化委員会と生徒会本部で花壇のチューリップの球根植えとパンジーの花植えを行いました。3年前から、オリンピック・パラリンピック教育の一環としてパンジーの花で五輪の輪がつくられていますが、今年も鮮やかな彩りで五輪の輪ができあがりました。体育館前の花壇ですので、ご来校の際には、ぜひ、見てみてください。チューリップは来年春まで開花を待つことになります。楽しみです。



### 2年校外学習 川越新聞

2学年では、1月19日(火)に予定されている校外学習(今年度は川越の予定)に向けて、事前学習が始まっています。PC室で検索しながら川越の歴史や地理、特産品を調べて新聞にまとめてみました。廊下に掲示してある作品を見て、川越の予備知識をさらに広げておきましょう。

○薬物乱用防止標語 東京都の選考でも優良賞  
柏木 夢耶さん 1年

### ○金融機関変更のお知らせ

(1・2年生保護者対象)令和3年度より、給食費・教材費等に関わる金融機関を、現在の東京みどり農業協同組合から多摩信用金庫へ変更することになりました。多摩信用金庫への「口座振替手続き」を、令和2年12月18日(金)から令和3年1月8日(金)までの間にお願います。詳しくは七中ホームページ等でご確認ください。